

よこはま市工連

社団法人 横浜市工業会連合会



工場見学

＜表紙インフォメーション＞

市工連の事業紹介: 工場見学

今後を担う学生及び学校関係者の中小製造業に対する理解を深め、人材の確保と後継者確保を図るため、就職指導教員と学生を対象に、横浜市との連携のもとに市企業の工場見学会を実施しています。

発刊日 平成24年7月1日
 編集・発行 社団法人 横浜市工業会連合会
 〒231-0023 横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル2階
 TEL 045(671)7051 FAX 045(671)7321
<http://www.y-shikouren.or.jp>



No.66

ECO
NEWWAY



近頃話題のエコボトル。 どのくらい地球にやさしい？

地球にやさしいエコボトルに進化したポカリスエット。
 エコボトルを手にとれば、
 今日からできる身近なエコが見えてきます。

国内製造最軽量！※
ペット樹脂を30%も削減
 ポカリスエットのエコボトルは、それまでの約27gから約9g軽量化し、ペット樹脂を約30%も削減した、国内製造最軽量の省資源ボトル。
 飲料メーカー自らが資源使用量をモトから減らす、こうした「エコ対策を「リデュース (Reduce)」と言います。
 「リデュース」はおなじみの「リサイクル (Recycle)」や「リユース (Reuse)」とあわせて「エコ対策の「3R」と呼ばれていますが、これまで日本ではあまり知られていませんでした。
 しかし「リデュース」による省資源効果はダイレクトかつ非常に大きく、特にポカリスエットのように年間約3億本が流通する人気ブランドともな

る、年間で9億×3億本＝2700トン、と削減量もケタはずれです。
 「方ユーザー」にとっては、環境配慮設計で作られた製品を選ぶだけで地球環境に貢献できるのがうれしいところ。誰でもごく手軽に始められる、新しいエコのカたちなのです。
エコと強さ、両立できたそのワケは？
 軽量化によって、エコボトルは以前の0.4ミリから0.23ミリへずいぶん薄くなりました。容器としての強度をどうやってキープしているのでしょうか。その秘密は、大塚製薬が総力をあげて開発した「陽圧無菌充填方式」という新技術。それまでは殺菌のためポカリスエットを高圧の状態に充填していたので、ペットボトルには熱に耐えられ

る厚みが欠かせませんでした。そこで新たに「無菌」の環境を充填ラインに完備。常温で充填することで、ぐんと薄いエコボトルの採用が可能になったのです。
 さらに、キャップを締める直前に窒素を充填して内部の気圧を大気より高い「陽圧」にし、強度を保つ工夫もしています。キャップを開けると、内部の気圧はシュッと下がり、本来の手になじみやすい柔らかさに変化します。
エコボトルの環境への効果を検証！
 エコボトルによる環境への効果をデータで改めてご紹介しましょう。(図2参照) マイナス9gが積み重なって、とても大きな効果が上がっていることが分かります。

図1

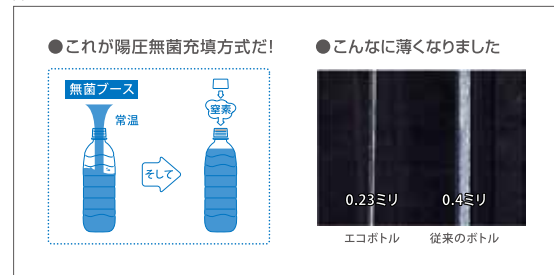
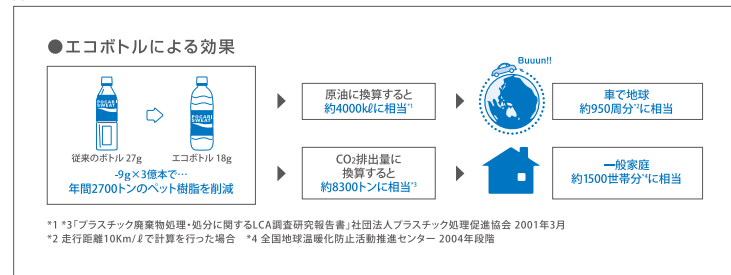


図2



ポカリスエットで身近なエコを始めませんか？

こうした環境への取り組みが認められ、ポカリスエットのエコボトルは『平成19年度 容器包装3R推進 環境大臣賞 製品部門 最優秀賞』を受賞しました。ポカリスエットを見かけたら、身近にできるエコについて考えてみませんか。例えばエコバックを持ち歩くように、エアコンの設定温度を抑えるように、エコボトルのポカリスエットを選ぶこと。地球にやさしい身近なエコを、ポカリスエットは応援し続けます。



提供/大塚製薬株式会社



経済局ものづくり支援課 関連の主要事業

中小企業新技術・新製品開発促進事業（S B I R）249,000千円

- 1 制度の目的
 - ◆ 研究開発の促進による中小企業の競争力強化
 - 2 支援内容と実例
 - ◆ 研究開発の分野別に枠を設けて助成
 - ＊重点枠[環境・健康]
 - 重点分野（環境・健康）における技術導入に対する助成が、新たに加わりました。
 - ＊一般枠
 - ◆ 販路開拓支援事業
- 24年度から、新製品に限らず、既存の自社製品や技術に対象を拡大

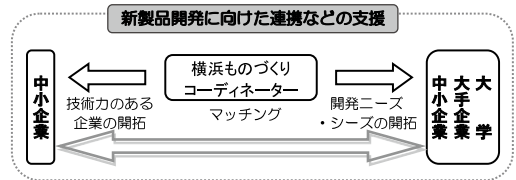
中小製造業設備投資等助成（旧 経営革新促進助成）293,000千円

- 1 助成制度の目的
 - ◆ 中小製造業が行う設備投資の経費の一部を助成することによる投資の誘引
 - ◆ 中小製造業の技術力、競争力等の向上
 - ◆ 省エネ、創エネ、節電対策となる設備投資の推進（24年度拡充）
 - 2 助成の対象
 - ◆ 工場などの購入、建築費用
 - ◆ 技術力を高めるための機械・装置の取得費用
 - ◆ エネルギー利用の効率化に資する機械・装置の取得費用《助成率を最大で40%上乘せ》
- ※ 市内工業系用途地域内に限る

中小企業支援コーディネート事業 37,544千円

- 1 事業の概要

中小企業の新事業分野進出や販路開拓を支援するため、大手企業O B等の“横浜ものづくりコーディネーター”が新製品開発に向けた技術連携などを支援
- 2 コーディネーターの役割
 - ◆ 企業間の技術連携
 - ◆ 大手企業等の特許を中小企業に移転（技術移転）
 - ◆ 大学等と中小企業の産学連携



現場訪問支援事業 2,415千円（新規）

- 1 事業の概要

横浜市職員、（公財）横浜企業経営支援財団職員及び横浜ものづくりコーディネーターがチームを組んで中小企業を訪問。現場目線で企業の強みや課題を把握し、施策の紹介や課題解決に向けた支援を実施。
- 2 事業の特徴
 - ◆ 積極的に現場を訪問し、支援施策等を紹介
 - ◆ 把握した課題の解決に向け中小企業支援コーディネート事業等につなげる など



市工連事業の主な取組

●平成24年度7月までの事業構築等について

- 1 平成25年度横浜市予算に対する提案書作成（政策委員会）
 - （1）検討プロジェクトの立ち上げ（6月）
 - ①検討体制；横浜市課長職以下の実務者15名＋市工連側15名
 - 長期、中期、短期で具体の3テーマを設定検討
 - ②検討内容；現状及び課題の共有、支援策の検討
 - ③検討期間；7月～8月下旬までにテーマごとに5回を目標に検討
 - （2）地域要望のまとめ
 - 6月から8月まで
 - （3）9月政策委員会で（1）、（2）から提案書作成
 - （4）10月下旬市長に手交

- 2 「みらい継業塾（中小企業経営者セミナー）」募集（事業企画委員会・対象；全会員企業）
 - （1）日程；平成24年7月～平成25年3月の毎月第4木曜日18：00～計9回開催
 - （2）定員；60名程度（工業会50、行政他10）、年間参加費18,000円（資料代＋会場費 @2,000円／回）
 - （3）募集方法；全企業に一斉ファックスで周知。定員を超えた場合抽選
 - （4）対象；地域工業会全会員企業、行政
 - （5）講師；マイスターコンサルタンツ代表 小池浩二氏

- 3 電力節減対策（雇用環境委員会、事業企画委員会・対象；全会員企業）
 - （1）日本ロジテック協同組合からの電力供給意向調査
 - ①電力供給の申し込み；2%の料金値下げ保証
 - ・組合加入金 10万円（脱退時返還）、組合費年間12,000円
 - ・0.1%分を市工連の事務手数料として還元
 - ②東電に対する交渉代行業務；一括して市工連が賛助会員となる。
 - 賛助会費 5万円／年
 - （2）企業の意向に基づき、料金低減調査を実施。効果があれば、電力供給契約。
 - （3）交渉代行業務は、会員企業の意向が強ければ検討。

- 4 情報伝達方法及びホームページ活用の検討（広報委員会）
 - （1）市工連からの情報伝達方法の在り方を検討
 - ①現状の市工連からの地域工業会会員企業への情報伝達方法
 - ア 当然のこととして、事務局を通じて行うことが基本となっている。
 - しかし、中小企業の厳しい経営状況や受注構造の崩壊等により、市工連の果たすべき役割に鑑み、事務局の行う情報提供以外にも、迅速に会員企業全体に情報提供すべき案件が増えてきている。（事務局定例連絡概ね月1回）

例；電力問題への対応、期限のある横浜市支援制度の周知、市工連への要望

- イ 現状の市工連の情報伝達方法
 - ・紙ベース；機関紙「市工連」（年2回）、かわら版（2か月に1回）
 - ・メール配信；メルマガ（全体650社うち会員500社）（月2回）
 - 受注ネットワーク（約400社うち会員200社）（随時）
 - ・市工連事業に過去参加していただいた企業への個別通知（1事業50社）
 - 会員企業のニーズに応えるには程遠い情報提供の状態です。
- 全会員企業向けの一斉ファックスを試行（1800社；20分で到達）

- （2）検討メンバーの人選
 - ・専門家(イデアル、日興テクノス、ハッスル、河北)
 - ・地域工業会からの推薦者、事務局長代表者 等
- （3）広報委員会の専門検討会として定例開催し、9月に構想をまとめ委員会に報告。
- （4）整備計画の実施
 - ・24年度予算；〇〇〇万円、補助対象；基本ソフト・ハードの整備費。今後の運用を考えて個別システムでなく汎用性のあるもの。
 - ・〇〇〇万円以上かかる場合は、25年度要求

- 5 市工連次世代人材の育成及び活用機関の設置（総務委員会；次回総会で提案）

- （1）設置趣旨

会長の諮問機関として設置し、市工連理事等への登用ほかの仕組み及び規定等の改正を検討する。委員長は会長が指名する、次期会長候補者の参加なども検討する。
- （2）参加メンバー

地域工業会から現理事の次年代の概ね40～50歳台を中心（基本は年齢にこだわらず、有意な方々に集まって頂ければと考えます。）として20名程度で構成し、市工連が持続的に存続するための仕組みづくりを検討し、具体策を会長が決定する。

- 6 その他
 - ・市工連企業の製品紹介
 - ・製品共同開発
 - 青年経営者「メードインジャパンプロジェクトメンバー」と通販企業ほかとの製品開発
 - ・他都市交流事業；みやぎ工業会（7月）北杜市工業会（8月；メガソーラー水力発電、サントリー工場視察、交流会）
 - ・中小企業への人材供給事業

CONTENTS

平成24年度経済局ものづくり支援課関連主要事業……………2	地域工業会だより・横浜西部工業会……………10
平成24年度市工連事業の主な取組……………3	地域工業会だより・磯子事業会……………11
平成24年度横浜市産業振興に関する要望についての回答…4	地域工業会だより・金沢区工業団体連絡会……………12
地域工業会だより・鶴見区工業会……………5	地域工業会だより・（社）横浜北工業会……………14
地域工業会だより・神奈川工業会……………6	地域工業会だより・戸塚泉栄工業会……………15
地域工業会だより・みなと工業会……………7	横浜青年経営者会だより……………16
地域工業会だより・南工業会……………8	平成24年度新入社員合同研修会……………17
地域工業会だより・港南区工業会……………9	



横浜市産業振興に関する 要望についての回答

市工連では昨秋、市の予算編成にあたり、横浜の産業振興を図るための政策提言並びに要望書を提出し、実現に向け要請を行いました。このたび市当局より回答がありました。紙面上【重点要望事項】についてのみ掲載いたしましたが、回答の全文は市工連ホームページでご覧になれます。また、地域工業会にも回答の全文がございますのでお問い合わせください。

平成24年度横浜市予算に対する市工連要望書

(1) 重点要望（2項目）

- ①中小企業の経営を日常的に支援する情報ネットワークの整備

【回答】

市内中小製造業の皆様への情報発信や情報収集は、社団法人横浜市工業会連合会が果たす役割として重要な課題であると認識しています。

また、こうした課題を解決していくことが中小企業の経営改善、さらに横浜経済の成長、発展の一助になると考えています。平成24年度予算で、このご要望に応えられるよう対応します。

- 予算措置；〇〇〇万円
- 市工連の対応；広報委員会の下に専門家、地域工業会選出の人材、事務局長代表等で構成する情報ネットワーク整備検討会を設置。

(検討事項)

- ア 地域工業会会員企業との迅速かつ確実な双方向情報ネットワークの構築
- イ H P の活用方法の検討
 - ・掲載内容の検討（会員企業のP R、地域工業会の活動支援、市工連事業のP R等）
 - ・運営、管理方法の検討

(検討期間)

- ・6月～9月（5回程度開催）構想をまとめる。
- ・10月以降整備、整備拡充費については、来年度要望を検討。

- ②中小製造業の節電対策支援

【回答】

今後、冬季、夏季における電力需要の状況や、さらなる原発停止などに伴う電力不足などにより計画停電を実施する場合は、

- 1 市民に対する早期に正しい情報の提供
- 2 特に生命の維持に直結する病院などへの配慮
- 3 横浜経済への影響を最低限に押さえる
- 4 不公平感を生じさせない

など、十分な対応を東京電力に依頼していきます。

やむを得ず、計画停電が実施される場合は、電力事業者や関係機関との連絡を緊密にし、本市ホームページや防災情報Eメールなどにより、速やかに情報提供していきます。

なお、国では平成24年夏の電力不足対策として、電力消費の見える化・電力料金体系の改革、省エネ設備や再生可能エネルギーの導入促進により、計画停電及び電気の使用制限を回避する方針を示しています。

また、企業の節電目標は、国が電力会社の供給力などを精査しながら決定すると聞いています。

- 23年12月補正予算 〇億円（温暖化本部）
市工連企業にファックスで情報提供、結果1時間で終了、前代未聞の事業となったが、反響が高かったゆえに、公募方法等に課題を残した。
- 24年度予算 〇億〇千万円（経済局）

(2) 局別要望（23件、うち予算関連7件）

- ①中小企業の節電対策（温暖化本部→経済局）
詳細にわたる支援すべてを、重点項目事業でカバー
- ②低利の繋ぎ融資制度の創設（経済局）
融資制度の拡充
- ③受発注マッチング事業の継続（経済局）
約〇〇〇万円
- ④中小企業の自社技術の高度化支援（経済局）
- ⑤中小企業の共同製品開発への支援（経済局）
④⑤既存事業の要綱を見直し拡充
- ⑥中小事業への人材確保支援の継続（経済局）
横浜型就労支援事業の継続（〇〇〇万円）
- ⑦産貿ホール事業の継続と修繕費用の負担（経済局）
計画の策定と、年間〇〇万円の予算化



鶴見区工業会

- 鶴見区工業会平成24年度事業計画
平成24年4月1日～平成25年3月31日
- I 基本方針
厳しい経営環境です。「花の咲かない寒い日は、もって根をはれ、根をのばせ」会員の皆様のものづくりへの熱い情熱と知恵と工夫を期待します。
鶴見区工業会としても、平成25年の創立30周年を目指して、横浜市工業会連合会を初め他の地域工業会や横浜市経済局並びに関係諸団体との緊密な連携の下に、会員企業を取巻くさまざまな課題に取り組み、鶴見から新たな製品や技術、産業の誕生に協力し、販路拡大を支援してまいります。
そのため、平成24年度は、次の諸事業を積極的に進めると共に、会員増強に努め、横浜・鶴見の産業人の総力を結集して、鶴見区工業会の発展を図ります。
以上の方針のもと本年度事業計画は次の通りです。
その具体化は、その都度専門部会、理事会で決定します。
 - 1 総会・理事会
(1) 総会 第30回通常総会 平成24年5月24日（木）
(2) 理事会 平成24年4月・6月・9月・12月（年4回開催）
 - 2 企画部会
(1) 鶴見のまちづくりについて
(2) 臨海部の再整備について
(3) 国・県・市等に対する意見・要望の取り纏めについて
(4) 創立30周年（平成25年）記念事業について
(5) 部会の随時開催
 - 3 広報部会
(1) 会報発行 平成24年6月・10月・平成25年1月（年3回発行）
(2) 創立30周年（平成25年）記念誌（会員名簿を含む）について
(3) 会員に対する各種情報の提供
(4) 部会の随時開催

退任ご挨拶

市工連には、鶴見つばさ橋開通、関西国際空港開港の年、平成6年から小泉純一郎内閣が発足した平成13年まで席を置かせて頂きました。
同年6月25日から鶴見区工業会にお世話になり、「リーマンショック（2008）」「百年に一度の世界不況（2009）」「東日本大震災（2011）」を経験しましたが、顧りかえると11年の歳月が一瞬の感でした。
皆様のお力により豊かな人生を送れました。有難うございます。
厳しい経営環境でございますが「ものづくり」は、人間の本能であり、進化です。特に資源のない日本の基本事業です。
横浜市工業会連合会・鶴見区工業会は、永久不滅です。皆様のご健闘をご祈念申し上げます。
このあとは、妻と二人三脚 一日生涯の生活で暮らします。
今迄 本当に有難うございました。



就任のご挨拶

このたび、ご縁があって鶴見区工業会の永山事務局長の後任を務めさせていただくことになりました長嶺と申します。
まだ未熟なところがたくさんあり、市工連の皆様や地域工業会の皆様に教えを請うことも沢山あろうかと思います。皆様方のお力添えをいただきながら、長年に渡って数多くの実績を積んでこられた永山事務局長の後任者としてふさわしい存在になれるよう一生懸命に努めて参る所存でございますので、ご指導、お力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



AGC 旭硝子株式会社 旭硝子

私たちAGCグループは、旭硝子株式会社を中心に建築・自動車・ディスプレイ用ガラス、化学品、その他の高機能材料を世界のお客様に提供するソリューション・プロバイダーです。
100年以上にわたる技術革新の歴史の中でAGCグループはガラス、化学、セラミックスなどの分野で世界トップクラスのコア技術を培ってきました。
私たちは、**AGC** ブランドのもと、グループビジョン **“Look Beyond”** を共有し、約5万人のグループメンバーが一丸となり、新たな価値の創造に取り組んでいます。

旭硝子株式会社
〒100-8405 東京都千代田区丸の内1-5-1
新丸の内ビルディング



神奈川工業会

《平成24年度事業に向けて》



会長 小菅 光良

昨年3月に発生した未曾有の「東日本大震災」から1年余が経過し、それに起因する福島原子力発電所の事故による電力不足のための操業短縮等我々中小企業への影響は大変大きなものとなっています。

政府の対応や施策が遅々として進まない中であっても、我々は日々の工夫と努力で何とか頑張り、前向きに取り組んで経営を維持しているところでありますが、依然として続く円高や予定される電気料金の値上げ等々、今年もまた一層の厳しい状況が待ち受けているように思われます。

今年度は以下の委員会を中心に事業を進めてまいります。

【総務委員会】



菜花委員長

【政策委員会】



岩井委員長

【異業種交流会】



大橋委員長

【事業・厚生委員会】



田中委員長

【広報・産学委員会】



金子委員長

【神奈川区企業防犯連絡協議会】

- ◎その他関連団体
・神奈川県労働保険事務組合連合会
・神奈川県労働安全衛生協会
等々

この状況を打開するにあたって、会としても会員各企業の自助努力に対して少しでも寄与できるよう情報提供し、会員相互の連携・交流を今まで以上に密にして連帯意識の向上を図ってまいりたいと考えております。また、当会の直面する課題である世代交代をより一層進め、会の活性化を図るべく各委員会の活発な活動を通して2世3世の若い方々に会の運営に参加していただけるような、そして広く一般会員も参加・参画しやすい体制作りを進めてまいります。



みなと工業会

みなと工業会は、ゴールデンウィーク明けの5月8日（火）17時より、横浜国際ホテルにて68名の出席で、第29回通常総会を開催。平成23年度の事業報告と平成24年度事業計画等を審議、平成23年度の事業結果については「厳しい社会・経済環境下において、経営にお役に立つ事業を推進し活力ある運営が出来た」と評価頂き、平成24年度の事業については「今年度も、難しい環境下での経営も予想されることから『当会の活動に参画していることが経営のお役に立つ』いわゆる『お役に立つ工業会』を目指し」事業を推進していくことで確認されました。

なお、会員のニーズも変化していることから、平成25年に創立30周年を迎えることから、これを期に事業の更なる充実を期して『事業検討プロジェクトチーム』を設置し検討することとしました。

1. 各種事業の推進

【朝食会】毎月第三火曜日8時15分より1時間、経営活動に必要なテーマをタイムリーに取り上げ、日常の経営活動等にお役に立つ情報の提供や会員相互の意見・情報交換、多彩なゲストを招いての研鑽を中心に実施していきます。



【異業種交流サロン】原則、朝食会が実施された翌日18時より開催。各企業が抱えている課題など情報・意見交換、見学会やゲストを招いての研鑽などを行うこととし、特に、朝食会とは好対照なフランクに語り合える場としていきます。

【各種事業】賀詞交歓会・見学会・経営者セミナー等については、会員間の交流・親睦・研鑽を目的に実施いたします。実施に対する基本的な考え方は前年度を踏襲することと致します。具体的な事業については事業部会にて論議決定していくことといたします。

2. その他の事業

【学校教育支援事業】当会、社会貢献の一環と位置付け「学校教育支援事業」を実施します。特にものづくりの職業体験が少ない状況にあり、会員企業のご支援・ご協力をお願い致します。

【無料相談等】弁護士をはじめとして司法、行政、経営コンサルタント等多彩な先生方のご尽力を頂き、気軽に相談できる「無料相談」で会員及びそのご家族のニーズに応えていきます。

なお、当会の大きな役割のひとつに、事務局体制の強化があります。会員の方々が気軽に相談・話しが出来る開かれた事務局に努力いたします。

【会員福祉活動】会員企業の福祉の向上にお役に立つメニューを紹介していくこととします。

【事業検討プロジェクトの設置】当会は平成25年11月で創立30周年を迎えます。今期は、30周年事業のあり方や、今日までの当会の事業と今後あるべき姿などについて『プロジェクトチーム』を設け検討することとします。

【横浜市経済局・市工連等との連携】経済局ものづくり支援課及び市工連との連携を図って行きます。

市や経済局への提言などは政策部会を中心に行っていきます。

【広報活動】

- ・広報紙『みなと工業会だより』を奇数月に発行。
- ・広報誌『みなと工業会会報』を発行。
- ・みなと工業会メールマガジンを送信。
- ・その他必要な情報をタイムリーにお知らせします。





神奈川工業会

地域とあゆむ工業会



会長 小菅 光良

神奈川工業会は1946年4月に地域産業の発展と活性を目指して発足した企業団体で、現在では「区民とあゆむ」を合言葉に活動範囲を大きく広げ、神奈川区の安全・安心を願い、警察署や消防署と共に防犯・防災についても力をいれ、地域社会に貢献することを目的として活動しております。

〒221-0002 横浜市内神奈川区大口通130-1 横浜信用金庫大口支店3F
電話 045-401-4324 FAX 045-401-4394 e-mail:kdfycia@nifty.com URL <http://www.kdfycia.com>



世界のオフィスで、30万脚。

その品質が愛されて10周年、累計販売台数30万脚。
コンテッサは今日も世界のビジネスシーンを支えています。

日本で生まれ世界で育つ
Contessa
メッシュチェア【コンテッサ】

<http://www.okamura.co.jp/>
お問い合わせ・ご相談は
お客様サービスセンターへ

フリーダイヤル
0120-81-9060
受付時間 9:00~17:20(土・日・祝日を除く)

よい品は結局おトクです
オカムラ
株式会社 岡村製作所



南工業会

南工業会では、平成24年3月に「創立30周年」を迎えたのを、記念して6月6日(水)ホテル横浜ガーデン5F会場にて先ず午後5時から、「第30回平成24年通常総会」を開催。引き続き6時6分から4F会場において「創立30周年記念式典&祝賀会」を開催致しました。

まず「創立30周年記念式典&祝賀会」の開催が午後6時6分から4F(アイリス)にて、ご来賓(協賛含む)37名・会員(お手伝い含む)63名のご参加を得て盛大に行われましたことをご報告申し上げます。

入場される方には、まず「創立30周年記念誌」と「記念品」をお渡しいたしました。

ご来賓には国会議員、県会議員、市会議員の方々をはじめ、南区長、経済局中小企業振興部長、ものづくり支援課長、市工連会長、同専務理事、市工連各工業会長、青経会会長、(公財)横浜企業経営支援財団、横浜商工会議所、南法人会会長、南区商店街連合会会長など多数のご参会をいただきました。改めて御礼申し上げます。

大坪副会長の過会宣言、石川副会長の司会で会は始まり、各界代表のご挨拶が続いたのち、笠原港南区工業会会長の音頭で、乾杯ののち13のテーブルに座っての食事がスタートしました。

途中、横山実行委員長企画の「南工業会30年の歩み」がスクリーンに映し出され、同社吉沢さんのユーモア溢れるナレーションと共に、大きな拍手が送られました。



また、高栄企業から出席の渡辺裕也さんの素敵な歌声やTrioBan(洋楽)によるBGMが一段と会の雰囲気を盛り上げました。終わりに「ふるさと」を全員で合唱しました。

午後8時10分中締めとして横山実行委員長から、この30周年式典&祝賀会の開催がここまで盛大に、和やかに開催出来たことへの、皆様への感謝と南工業会への今後もご支援とご後援をお願い申し上げる言葉がありました。散会いたしました。

これに先立ち、午後5時～5時45分にわたり、「第30回通常総会」が5F(フリージア)で開催されました。坂下副会長の司会・斎藤会長の議長により「23年度事業報告、同収支決算報告・監査結果報告～24年度事業計画、同収支予算案(30周年行事予算を含む)」の報告と提案が各担当理事からあり、それぞれ承認を得ました。本年の市長表彰は団体役員・当会の住吉 博理事。優良工業従事者・千歳自動車工業(株) 加藤清治様に、山口区長から市長表彰状と記念品を。南工業会会長表彰を、優良工業従事者として、共同写真(株) 青木絵里様、海老沼久充様、高橋ひとみ様の3名に斎藤会長から表彰状と記念品をそれぞれ授与されました。

なお、24年度主な事業計画は、昨年度好評を得ました「会員の社長によるセミナー」を中心とするほか、「日帰り研修バス旅行」の開催。親睦ボウリング大会の開催。などが計画されております。



アクア・ケム蒸留装置
無菌濾過装置、逆浸透装置、バイロジェン除去装置、セラミック・ニュー・メン
プランフィルター、各種水処理プラント

日本濾水機工業株式会社

代表取締役 橋本 祐二

〒232-0052 横浜市内南区井上ヶ谷中町91番地

電話 045 (712) 1211

ON DEMAND PRINTING
印刷物は、必要な時に必要な分だけ、しかも高品質で...

DIGITAL FILM
清々とした画像はデジタル化でスキャンし、セキニデも忘れずに...

GRAPHIC ARTS
写真、デザイン、イラスト等制作いたします。世界でたったひとつの作品...

〒233-0608 横浜市港南区戸1-13-1
TEL.045-712-4490 FAX.045-743-3039

特別顧問 斎藤 隆正

共同写真株式会社



港南区工業会

◇平成24年度指針

創立三十周年記念事業も無事終了し、新しい歴史の第一歩を踏み出す年度に私たちは身の引き締まる思いをしております。

事業計画としましては、事業を進める中で何と言っても気になるのは現在の経済の動向で、工業(モノ作り)だけではなく人が動けば其処に経済が発生する訳で、あらゆる業種が関わってきます。勿論、当会としては工業会ですからモノ作りを中心とし、他の産業への窓口を広くして地域経済の発展に寄与したいと考えており、行政や横浜市工業会連合会との連携を密にして会員各位のお役にたちたい一心で役員一同頑張ります。

又、コミュニティ会を盛り上げ会員同志の交流や会員企業の福利厚生のお手伝い等にも役立ちたいと考え発足以来、早や十年となります。若手の自由闊達な活動もコミュニティ会に位置づけています。ボウリング・ゴルフ会・お茶の会・自然を楽しむ会は毎回好評で楽しみにして頂いております。

尚、友情参加で他地域工業会の会員様も拒むものではありませんのでホームページにて参加を募っております。事務局までご一報下さい。



◇若手会セミナー

次世代を担う「若手会」の活動を報告します。JR東戸塚駅近隣に所在する大成建設(株)技術開発センターへ耐震・免震・制振技術を主たるテーマとして見学会を開催させて頂きました。

開催にあたっては、折りしも世相は震災後一年を迎え、様々な動向ある中、地域の事業者として我々会員が災害に対する意識をより自覚する事を意図として行ったものです。

当日は、年度末と言う時期も有り皆様大変お忙しいなか、23名もの方にご参加を頂き、また、参加者には横浜青年経営者会会員様の社員の方もお出でになり、若手会、序盤の事業としては無事に開催できた事を担当者一同、安堵しております。

次年度も、若手会の身の丈に合った内容を心掛けつつ新たな企画をご案内し、多くの参加者を期待しているところです。



港南区工業会

住工混在地域の立地条件の当会は、異業種も含む会員間のコミュニケーションを深め、趣味同好会での組織強化を図りつつ、会員のメリット、地域社会への貢献を目指しています。

副会長	志村 洋一	鶴見プレス工業(株)	会長	笠原 節夫	株式会社八千代ポトリ
副会長	住田 義夫	(株)住田工業所	会 計	恩田 幸一	(株)一幸堂
副会長	高井 軍造	(株)ニッシン電子	総務部長	稲村 直之	(有)稲村建具
副会長	高梨 徳	(有)高梨鉄工所	コミュニティ部長	江藤 忠勝	(有)龍昇堂
副会長	鈴木 清	港南テクニクス(株)	広報情報部長	平野 裕之	(株)平野製作所
ホームページ	港南区工業	検索	渉外部長	関 俊和	(株)エース産業
				E-Mail	jimu@konan-k-it.jp



横浜西部工業会

平成24年度事業計画

日本経済は、東日本大震災、東電福島第一原子力発電所の事故により長期かつ深刻な打撃を受け、加えて、原油価格の高騰、電気料金の値上げが直撃、更に原子力発電所の稼働停止による電力不足などの不安材料が影響し、景気は停滞したまま回復せず、先行き不透明感を増しています。加えて中小企業にとっては、国内産業の空洞化の進行による影響も深刻で、当分厳しい経営環境が続くものと思われます。

このような状況の下、当工業会では、会員企業の支援となるよう横浜市経済局、市工連その他関係団体と連携を図りながら着実に事業を進めてまいります。

(1) 経営環境向上事業

工場の立地環境の改善や工業振興施策の充実を図るため横浜市に要望などを行います。

ア「平成25年度（予算）産業振興施策に対する要望」

イ 横浜市経済局との工業振興施策に関する意見交換

ウ 工業系用途地域に建設する共同住宅建築に関する協定書締結の指導など

(2) 経営基盤強化事業

ビジネスチャンスの拡大、経営の安定化、技術の改善・開発などを推進するため、市工連など関係機関と連携し事業を実施します。

ア セミナーの開催（商工会議所西部支部と共催）

イ 施設見学会の開催

ウ 各種融資助成制度の紹介

エ 各種事業・制度の活用、参加の勧奨促進

・ビジネスチャンス商談会（テクニカルショウ併催事業）

・「テクニカルショウヨコハマ」への出展

・横浜ネットワークプラス（受発注相談制度）

・市工業技術支援センター（試験分析・デザイン相談）

・県立職業技術校（スキルアップセミナー）

・県産業技術センター（ものづくり継承塾）

・市工連団体PL保険、市工連労災総合保険制度

(3) 会員交流事業

会員間の積極的な交流を進め、工業会組織の強化及びビジネスチャンスの拡大に努めます。

ア 研修会の実施（経営者セミナー、地域セミナー等）

イ 懇親会の開催（賀詞交歓・通常総会時・役員会時）

ウ 親睦ボウリング大会の開催

エ 親睦ゴルフコンペの開催

(4) 福利厚生事業

経営者、従業員の福利厚生の促進を図ります。

ア 福利共済制度利用の勧奨促進

・横浜市勤労者福祉共済制度

・神奈川県福祉共済協同組合の傷害休業支援共済

・定期健康診断受診

イ 健康管理に関する知識の普及（セミナーなど）

(5) 表彰事業

永年勤続の役員、従業員の功績をたたえ、横浜市長表彰制度の活用及び工業会会長表彰を実施します。

(6) 広報活動及び各種情報の提供

市工連、横浜市、神奈川県及びその他の関係団体などから経営、技術、人材育成などの各種情報提供を求め、会員に提供します。

ア 定例及び随時の情報提供

イ 会報の発行

ウ 会員名簿の発行（24年度版）

(7) 地域行政への協力・連携

他の地域団体とともに、区推進事業に協力します。

(8) 組織の充実・強化

工業会組織の充実強化にとって不可欠な会員増強（加入促進）に努めます。



磯子事業会

磯子事業会では、4月20日（金）に磯子区役所において恒例となっている「平成24年度 横浜市経済局との行政懇談会」を開催しました。懇談会の冒頭、山崎会長から行政懇談会、あるいは横浜市工業連合会等を通して、磯子事業会として意見具申すべきことはしっかりと意見具申していく旨のご挨拶がありました。

懇談会では、まず、磯子区の事業紹介として、福井磯子区政推進課長から「グリーンカーテンコンテスト」の案内がありました。本コンテストは、地球温暖化対策のためのグリーンカーテンの育成啓発を家庭から事業所、教育機関等に対して行うため実施するもので、特に今年度は磯子区として企業の参加を期待していることから、福井課長から事業会会員企業のコンテストへの積極的な参加への働きかけがありました。

続いて、磯子区総務課の奥条危機管理担当係長から津波に関してのお話をいただきました。4月に改訂された横浜市消防局危機管理室の「津波からの避



難に関するガイドライン《第2版》」、津波による浸水予測区域を明示した非難対象区域図等をもとに説明いただきました。

最後に、横浜市経済局のものづくり支援課の江藤雅一 担当係長にご登壇いただき、「経済局予算及び重点施策」について詳細に説明いただきました。特に、今年度の経済局の主要事業として、横浜版成長戦略推進の一つの柱でもある「中小企業のイノベーション促進支援」について、熱心にご説明下さった事が印象的でした。

磯子事業会からは山崎会長以下20名が出席し、盛会に終えることができました。

その後の懇親の部では、坂本磯子区長のご挨拶、磯子区職員のご紹介、丸山副会長の乾杯の挨拶に続き、活発かつ笑顔溢れる意見交換が行われ、交流の場にふさわしい親睦のひと時を過ごしました。

この行政懇談会は、行政と磯子事業会の相互理解に欠かせない重要な機会となっており、今後も定期的に継続して開催して参ります。





最新の設備と信頼の技術

樹脂 ダイカスト ガラス金型 設計製作

株式会社 原田金型

代表取締役社長 原田隆晴

〒241-0803 横浜市旭区川井本町6-18
TEL.(045)953-8935
FAX.(045)954-1532



アイデアの詰まった
ボックス、ご用意
しています。

寺井印刷工業株式会社

横浜市旭区さちが丘3番地 TPビル 〒241-0822
電話 (045)391-5083 FAX.(045)391-5385

広告



セレモ倶楽部
会員募集中

家族葬 から 一般葬 まで

職員厚生会加盟店

ご相談は安心のセレモホールへ

「1日1組」 セレモホール 新杉田

喫茶ルームをはじめ、エレベーター・車椅子用トイレ・
100インチ大型モニターなど
全てに充実した設備を備えております

横浜セレモ株式会社
〒235-0036 横浜市磯子区中原 2-8-6

セレモホール 金沢文庫（金沢区金沢谷東）
セレモホール 富岡（金沢区富岡）
セレモホール 上郷（栄区上郷町）

詳しくはHPをご覧ください | 横浜セレモ [検索](#)

24時間受付 無料電話相談

 **0120-594-852**



金沢区工業団体連絡会

《平成24年金沢団地協同組合事業計画》

東日本大震災から1年が経ち、一時期落ち込んだ産業経済界でも、復興施策の集中的な推進によって、需要の増加と雇用の創出が見込まれ、景気は緩やかに回復することが予想されております。

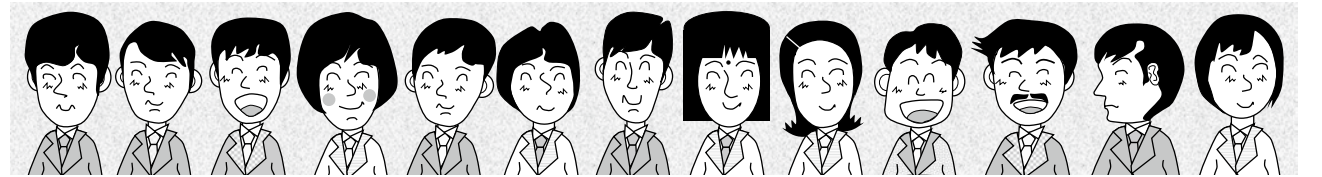
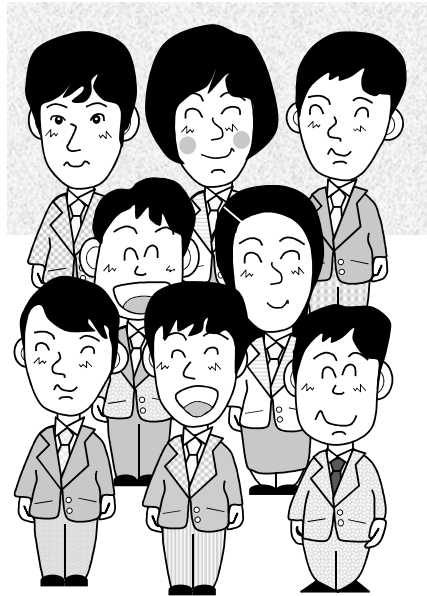
しかし、一方では復興需要が被災地中心であることや、円高の定着により製造業を中心とする海外シフトが加速化しております。更に、欧州債務危機の深刻化などを背景とする海外経済の一層の減速懸念、原油高や電力供給の制約と料金の高騰など、企業ではコスト負担増や価格転嫁ができず、企業経営を困難にしております。

されど経営環境がどのように厳しくとも、「自分の城は自分で守る」という強い信念のもと、組合活動のスローガンもいままでと同じく「明るく元気な組合づくり」とし、「省エネ町内会」活動も引き続き推進するとともに、団地内の情報交換、コミュニケーションの充実により、経営のスパイラルアップを目指します。

これらの今日的な認識を踏まえ、神奈川県、横浜市、金沢区等の行政機関並びに先進的な他の事業協同組合などと、積極的な連携活用を図りつつ、防災に強く、魅力ある団地づくりを推進してまいります。

主たる活動

- 1 団地内ボーリング大会
- 2 パソコン教室
- 3 労働安全衛生、防犯、防災等のセミナーの開催
- 4 組合ニュースの発行
- 5 植栽柵花壇の整備を通じて地域環境の美化
- 6 関係行政機関と連携し地域内の不法投棄物の一掃



《横浜金沢産業連絡協議会》

会員企業の紹介

今回は、金沢臨海産業団地で気鋭のバイオ企業「株）パラエルモサ」を紹介します。

紹介者は、昨年から産連協総務委員として活躍されているパラエルモサ前澤専務です。

『株式会社パラエルモサ』

代表取締役 加瀬喜美子

本社所在地 横浜市金沢区福浦1-9-2

主要製品 頭髮化粧品、染毛料、基礎化粧品など

株式会社パラエルモサは、産業団地内に5事業所を有する癸巳化成グループの一員として、1998年に化粧品の製造工場を開設して営業をスタートした。社名はスペイン語を源とする「美の追究」という意の造語で、そこには「信頼と安心」をモットーに「美しさを追求する人々のお役に立ちたい」という創業者の思いが込められている。

2006年10月には、第二工場を竣工し、現在は化粧品（頭髮、基礎、メイクアップ）のコンセプト設計

から研究開発、製造までを手がけている。素材開発・製造が可能であるグループ企業との連携による強みに加えて、独自に、女性ファッション誌に取り上げられた化粧品特集記事の集計・解析を行い、多様化する消費者ニーズへの対応を進めている。今後は更に、作り手である我々と使い手である顧客や消費者との直接的な関係を育み、当社特有の「クラフトマンシップ」感覚を進化させていく。商品の開発計画がありましたら、お気軽にご相談ください。シーサイドライン市大医学部駅、後方北側ピンク色の建物を目安に・・・。

紹介者：前澤 大介 氏

現 職：癸巳化成（株）取締役

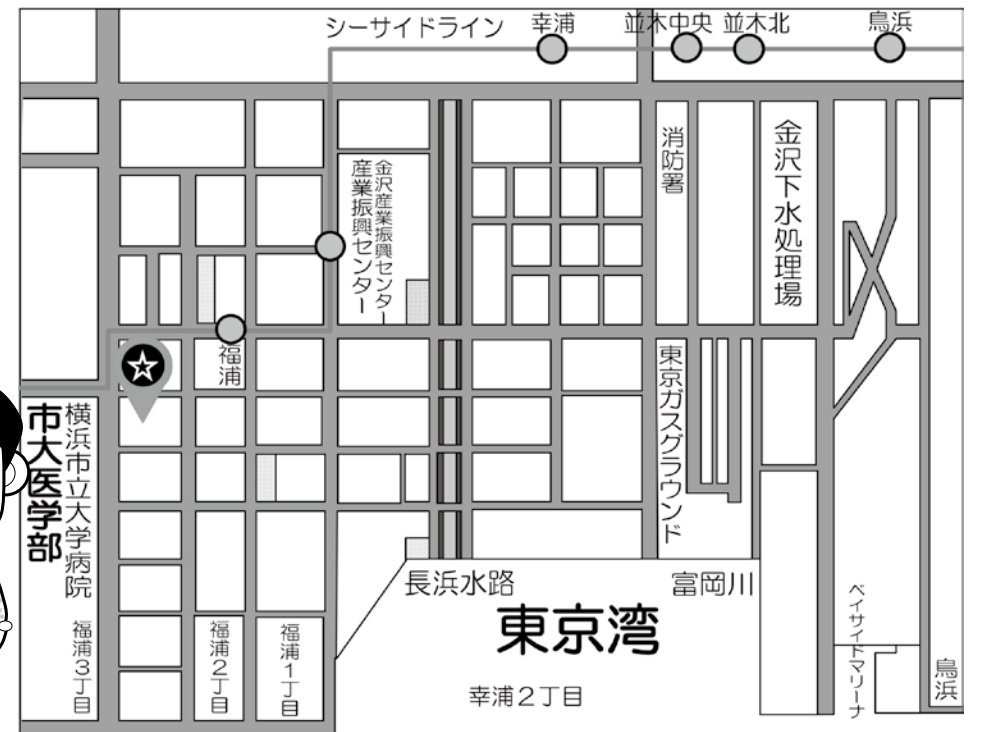
（株）パラエルモサ取締役

経 歴：2001年より癌研究所蛋白創製研究部にて「ナノバイオ」研究に従事
2004年に癸巳化成（株）に入社、現在に至る。

趣 味：スポーツ観戦、読書／／独身



前澤専務



横浜市グリーンバレー構想の対象地域

低炭素化の街作り「横浜グリーンバレー構想」

横浜金沢産業団地カーシェアリング事業受託推進中

カーシェアリングのステーション
および急速充電器ステーションは、
化学工業団地事務所所在地に有ります。

PIA
Yokohama Seaside

横浜金沢産業連絡協議会

TEL:045-781-1131 FAX:045-781-113



(社)横浜北工業会

発足以来５２年の歴史を有する当会は、本年４月１日から公益法人制度改革に伴う一般社団法人として新たにスタートしました。平成２４年度事業計画の主な内容を紹介します。

I 基本方針

政治、経済をはじめとして、私たちを取り巻く様々な環境が変化していく中で、役員はもとより全ての会員が気持ちを新たにしていにより一層連帯感を高め、会員増強等組織の拡充を図りつつ会員交流を積極的に推進するとともに、受発注機会の拡大など横浜北工業会の存在価値と会員に対するメリットを高めながら、地域経済の振興と地域社会の発展に貢献できるよう適切な事業運営を進めてまいります。

II 事業計画

1 生産環境整備事業

横浜市経済局をはじめ関係行政機関に対して企業経営や立地環境改善に関する意見要望等を積極的に行い、会員企業の良い生産環境の整備を進めてまいります。

2 産学異業種交流推進事業

市内の大学、研究機関等との交流を通じ、会員企業の新技術や新製品の開発促進を支援してまいります。また、友誼団体との連携を強化

し、会員企業の受発注機会の拡大に取り組んでまいります。

3 経営基盤強化事業

会員企業の経営基盤を強化するための人材育成や技術の改善、雇用情勢や景気動向に関する各種のセミナー・研修会を開催するとともに、会員企業の資金繰りを支援する中小企業融資制度の紹介・斡旋や助成金等の情報を積極的に提供してまいります。

4 福利厚生労働条件改善事業

会員企業の発展と従業員の福祉の増進及び勤労意欲の向上に資するための事業を推進してまいります。

5 会員交流事業

会員増強運動の推進により組織の拡大と財政基盤の安定化を図ってまいります。また、支部活動を活発に行うことにより会員相互の交流を促進し、受発注の拡大に繋がるよう努めてまいります。

6 地域諸施策支援事業

一般社団法人への移行に伴う公益目的事業として地域社会の発展に貢献するため、港北・緑・青葉・都筑の４区役所をはじめとする行政機関や各種地域団体等が実施する事業への参加協力を積極的に行ってまいります。



戸塚泉栄工業会

今年度は、昨年後半に発足した「地域活性化委員会」がベースとなって活動の企画立案を三役会・理事会等に提案を行い賛同を得て活動を実施し工業会の活性化を促進していく所存です。

一例として上記の様な活動経過を経て昨年１２月に実施した会員や会員以外の企業・諸団体を交えての「地域情報交換会」を実施した結果、今年３月までに６社の新規入会がありました。会としては、大いに士気高揚に繋がったところです。

「地域活性化委員会」としては昨年同様、下記の目的を活動の柱としております。

- ・会員企業同士が良く知り合い、横の繋がりをより強くする。
- ・会員企業は、会員企業以外の企業や諸団体の活動やそれに関係する人を良く知る。
- ・会員企業は、地元の方に良く知ってもらい役立つ活動を行う。
- ・工業会として地域で行われる色々な活動に対して会員企業の橋渡しを行う。

以上の目的を踏まえ従来の活動計画にプラスして



今年度から新たに活動が加えられました。
(新しい活動)

- 1 地域活性化委員会の実施
・事業の企画・立案及び進捗状況の確認
毎月１回以上 メンバー６人
- 2 会員企業見学会
・会員企業同士がお互いに眼で見て知る事
年２回（８月、１２月）
- 3 ゴルフコンペ
・懇親会以外の環境で人の繋がりを図る
２５年３月（磯子カンツリー）
- 4 日本女子ソフトボール応援ツアー
・会員企業（日立ソフトウエアソフト部）の応援
５月茅ヶ崎球場、１０月保土ヶ谷球場
- 5 戸塚区納涼大会
・灯籠流し・盆踊りの応援
８月柏尾川
- 6 エフエム戸塚ものづくりの絆
・エフエムラジオ放送を通して会員企業を紹介
４月より毎月２回、戸塚・泉・栄区限定
今年度は、新たな活動を加える事により当工業会及び地域の活性化を進めて行く予定です。





ご宴会最大 64 名様

ご接待・ご宴会・お祝い・ご法事・ご友人同士・ご家族で
きじまでは、お客様の幅広いご利用目的に合わせて最適なお席、お料理のご提供をさせて頂いております。お気軽にご相談ください。

一般席のご予約について
一般席は、6名様までのお席がございます。
ご予約の際、あらかじめお料理を、決めて頂いております。お料理については、ご予約の際に係の者にお気軽にご相談ください。

個室のご予約について
個室のご予約は、会席料理で承っております。
■平日は昼の会席料理 2,783円より、夜の会席料理 5,250円より ■土日祝日は昼夜共に、5,250円の会席料理より承ります。

予約料、部屋料、サービス料はいっさい頂いておりません。

新横浜プリンスホテル2F ☎045-470-0828 **210席**
神奈川県横浜市港北区新横浜3-4新横浜プリンスホテル2F

営業時間
平日（曜） 11:00～14:30（夜） 17:00～22:00
土・日・祝 11:00～22:00（土・日・祝は、終日営業）
ラストオーダーは閉店時間の1時間前です。

無料送迎バスでお迎えに参ります
無料送迎バス(28名様乗り)は10名様よりご利用頂けます。





オセアングループ

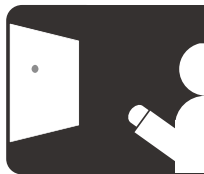


大洋建設株式会社

HP <http://www.ocean-group.co.jp>

0120-556037 ココロハミンナ

本社 〒244-8558 横浜市戸塚区戸塚町157 **TEL** 045-861-0025



横浜青年経営者会だより

~~~~~ テクニカルショウヨコハマ 2012 ~~~~~



当会初の試みである「テクニカルショウ ヨコハマ 2012」への出展事業。

「横浜の元気!! 横浜青年経営者会」と題を打ち、横浜市ブース内という素晴らしい展示場所にて、会員企業 7 社が初出展。試行錯誤の中、様々な展示品等にて自社アピールを展開し、新規顧客獲得を行いました。

会としては「ものづくりネットワーク」を開示。行政からOB会員企業含めた幅広い連携を展示し入会を推奨し、多くの方に興味を持って頂きました。次年度も引き続き出展し、元気ある横浜の一翼を担いたいと思います。

今年度も『**会員全員で作り上げる青経会**』をテーマに活発な事業展開をしてまいります。

## ~~~~~ 新入会員のご紹介 ~~~~~

レッカー車製造・販売 レッカー車ロードサービス

★「**アジアのレッカー王目指して邁進中。**」

株式会社 ヤマグチレッカー  
〒220-0055 横浜市西区浜松町 5-23

代表取締役 山口 喜久雄  
TEL : 045-242-6240

精密部品加工

★「**超硬加工のエキスパート、ヤマセ精機に！**」

ヤマセ精機 株式会社  
〒223-0056 横浜市港北区新吉田町 4254

専務取締役 高橋 正徳  
TEL : 045-593-0420

機械加工

★「**NC旋盤による複合加工を行っております。**」

有限会社 本間製作所  
〒236-0002 横浜市金沢区鳥浜町 2-62

主任 本間 政貴  
TEL : 045-778-6674

# 新入社員合同研修会

## 24年度新入社員合同研修会

今年も帆船日本丸において4月12日から13日の1泊2日の日程で16社50名の新入社員の方々が参加して開催されました。この新入社員研修は第26回目を迎える市工連主催の伝統ある研修で、「帆船日本丸」でなければならない貴重な体験を通してチームワークの重要性・協調性・チャレンジ精神などを養い、企業人としての自覚と責任を引き出し組織の新戦力を育てる目的で行っております。

## 三波工業 株式会社（横浜金沢産業連絡協議会）

吉田 智和

大変応用の幅が広いお話、各体験をさせて頂き、ありがとうございます。二日間の研修の中で大変大きな意識の変化が私の中で起きました。それは、今まで以上に、社会人、三波工業の社員として自覚を持ち、お金を貰い学んでいる、働くことへのプライドが必要だと感じたことです。

先日までは、社内で研修を行っていました。それ故に、新入社員として自分を自覚していました。そのため、声が小さかったり、同期と話す時もメリハリが無く、講義も客目線で聞いておりました。しかし、今回の研修では、他の企業の新入社員と同じ時間を共有しました。そこで、自己紹介などで、自分の名前の前に企業名を言う、社内との雰囲気の違いの大きな違いということが特に印象に残りました。そこから、三波工業がどのような企業であれ、自分は他者から見られているが、それは企業が他社から評価を受けることと同じ事だと分かりました。同時に、三波工業が自分にマッチングしており、そこが私の居場所であると感じました。また、50名の共同生活を行いました。中でも特に三波工業の同期の互いの気づかいなど、ちょっとした事を再認識し、同期が大切であると身を持って感じました。大変良い時間でした。

以上の感想により、私は今後、次の事を実行しようと思います。一つ目は、もう少し真面目に挨拶を大きな声で出す。二つ目に、心理学を利用する。プラス思考、意識レベル、星の先の星を見る、講義は客と一緒に作るものという話が特に印象に残りました。三つ目に、カッター、マスト登り、紐結びなど、体を動かし



て憶えることを甘く見ないことです。また、清掃など、小さなことでも、自分から動くことができる人間になると誓いました。そして、以上の事の多くが社内研修で先輩方が教えてくれた事だと気が付き、三波工業に対して深い愛社精神を感じました。

大変勉強になりました。

## 株式会社 ショウエイ（一般参加）

片桐 綾乃

今回の日本丸での合同研修を体験させて頂いてまず感じたことは、今までの外部研修で学んだことが活かしているということです。

溝の口・渋谷で体験させて頂いたグループワークの進め方や周りの方とのコミュニケーションの大切さの教えがあったので、日本丸での研修では、自分から積極的に挨拶ができたり年齢を問わず楽しく会話ができたと思います。

外部研修は、全部で6日間体験させて頂きましたが、その中で経験した事を活かせるようになったことがわかり嬉しかったです。

研修内容では、マスト登り・カッター訓練を通して応援し合う事の大切さ、周りをよく見て状況判断することがチームワークに繋がるということを実感することができました。

私は今まで50名以上の方々と同じ目標に向かい個人やチームで挑戦するということは経験したことがありませんでした。

しかし、みんなでマストに登るということや目的地を決めてチームでボートを漕ぐ中で不安な思いをしたときや体力的に苦しいと感じたときが多々ありました



が、チームの方々や同期の応援がとても心強かったことが実感できました。

研修中のグループワークでは、なかなか意見がまとまらなかったり大変でしたが時間や作業に使うペース配分を考えることにより発表までに間に合わせることができました。

周りの様子を把握し行動することでチームワークが良くなるのだとグループワークを通して学ぶこともできました。

今回の研修を通して、これから教えて頂く仕事をしっかり覚えるだけでなく周りの状況判断を行い組織のチームワークの流れも考えて仕事のできる人間になりたいと思いました。

そのために今後は、目の前の仕事だけではなくその次の仕事など広い視野を持って業務に務めたいと思います。2日間貴重な体験を経験させて頂いてありがとうございました。

#### 北沢建設 株式会社（横浜西部工業会）

##### 船木 正芳

私は、今回の研修を通して色々なことを学びました。まず、皆さんとお話しさせていただいて、私だけでなく、皆さんもそれぞれで苦労していることが分かりました。

2つ目は、学生と社会人との違いをハッキリとさせることです。

今までのように学生の気分のまま行動をしますと会社の人や周りの人にまで迷惑をかけてしまうので、これからは、社会人としての意識を持って行動していかなければならないと思いました。

3つ目は、ただ目標を立てるだけではなく、さらに、その先の目標を立てていく大切さを学びました。

そして今回の研修で一番大切だと思ったのは、いろんな人と協力をしていくことです。

今回の研修では、カッター訓練のような自分一人だ

けの力では成し遂げられないこと、グループワークのように自分だけでは出て来ないような考え方、マスト登りのように自分のミスで他の人に迷惑をかけてしまうなど協力していくことが重要だということが体験できました。

以上のことから、これからは、社会人としての自覚を持ち、自分の目標とさらに、その後の目標まで持ち、いろんな人と協力して立派な社会人となるように努力していきたいと思います。

#### 株式会社 互省製作所（（社）横浜北工業会）

##### 青山 貴行

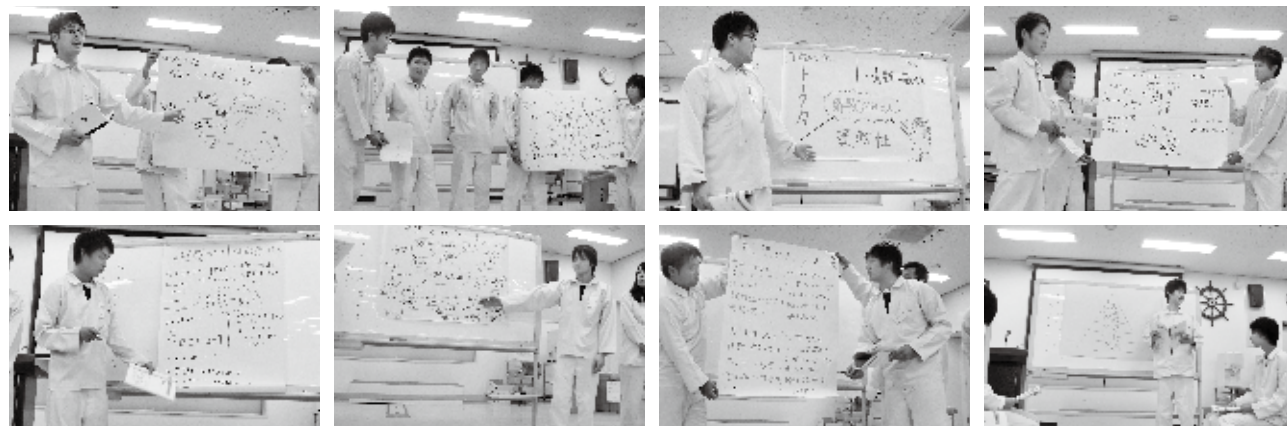
研修を通して学んだ事は、大きく3つある。

一つ目は、チームワークの大切さである。社会で求められるのは協調性、他人に合わせる力である。この研修では、船乗りとしての規律ある団体行動や、カッター訓練を通して「一人が皆の為に、皆が一人の為に」という意識が強くなったと思う。仕事においてもチームワークに重きを置いていきたいと思う。

二つ目は、他者を褒めることの大切さである。単に表面的なお世辞を言うのではなく、意識レベルの上位に来る、信念及びアイデンティティの点において他者を褒めることが大切だと学んだ。褒めることで組織のモチベーションを向上させ、良い職場づくりを目指したいと思う。

三つ目は、状態管理である。体はもちろん、心の面で余裕がなくては良い仕事は出来ない。自分自身を好きになり、心に余裕がなければ本当の意味でお客様の為に誠心誠意働くことが出来ないのである。もちろん、仕事の失敗やプライベートな事情で心の安定が図れないことはある。その時の対処法として、「自己の客観視」があることを学んだ。

最後に、2日間お世話になった方々に感謝の意を表して締めたいと思う。



AIM・ジャパン  
**Imm Japan**



AIM・ジャパン  
外国人技能実習生受入れ

受入  
実績

**36,000名突破!!**

意欲の高い外国人技能実習生の受入れによって、企業の活性化を図ったり、海外の生産拠点の人材育成に繋げている企業が増えています。

そのためには、優れた受入団体（監理団体）選びが何よりも大切です。

AIM・ジャパンの特徴は

- 1 日本最大の受入団体
- 2 ベトナム・インドネシア・タイ政府直接派遣
- 3 技能実習生配属前の約5か月間にわたる徹底指導
- 4 受入企業及び技能実習生への万全なアテンド体制
- 5 定期的な技能実習生の受入れ

公益財団法人 国際人材育成機構（略称／AIM・ジャパン）

業務推進部 〒135-0007 東京都江東区新大橋1-8-11 三井生命新大橋ビル

☎03-5600-5628 Fax. 03-5600-5629

入管法や労働関係法令を熟知したスタッフがサポートいたします。

**<http://www.imm.or.jp/>**